



古谷 悠(ベース)

西東京市で育った(碧山小→保谷中)。  
今回のライブのリーダーにして自身の西東京市初ライブ。

幼い頃から父親の影響でJazzを聞きながら育ち、中学生の頃にギターを始める。  
高校時代にBill Evansの「Sunday at the Village Vanguard」と出会い、Jazzベーシストをめざす。  
大学入学を期にビッグバンドでウッドベースを始める。 荒巻茂生氏に師事。



## 柳 隼一(ピアノ)

2012年10月10日には自身初のリーダー作「bubble fish」を発売。

2015年二枚目となるリーダー作「slope」を4月に発売する。

2015年秋にオランダを代表するアルトサックス奏者、Joris Posthumusのレコーディングに参加。2016年に秋に世界発売される。

2017年の4月に Joris Posthumus グループでオランダ、ベルギーの10ヶ所で演奏し、BIMHUIS 等に出演。

7月には north sea Jazz Festival に出演。国際的に更なる幅広い活躍が期待されている。

2018年の9月には自身三枚目の「play standards」を発売。好評を得る。

2020年3月に自身四枚目のアルバム「GO&GO&GO」を発売。

元TBSアナウンサーの堀井美香の一人朗読会 yomibasho vol1. にピアニストとして参加。

2022年11月に五枚目の「y's trio vol.1」を発売する。



塚田 陽太(ドラム)

2000年、神奈川県横浜市生まれ。

8歳よりドラムをはじめ、岡村タカオ氏に師事する。ジャズドラマーである岡村氏の影響を受け徐々にジャズに傾倒。

2018年、昭和音楽大学ジャズコースに入学。

小山太郎氏、横山和明氏に師事する。

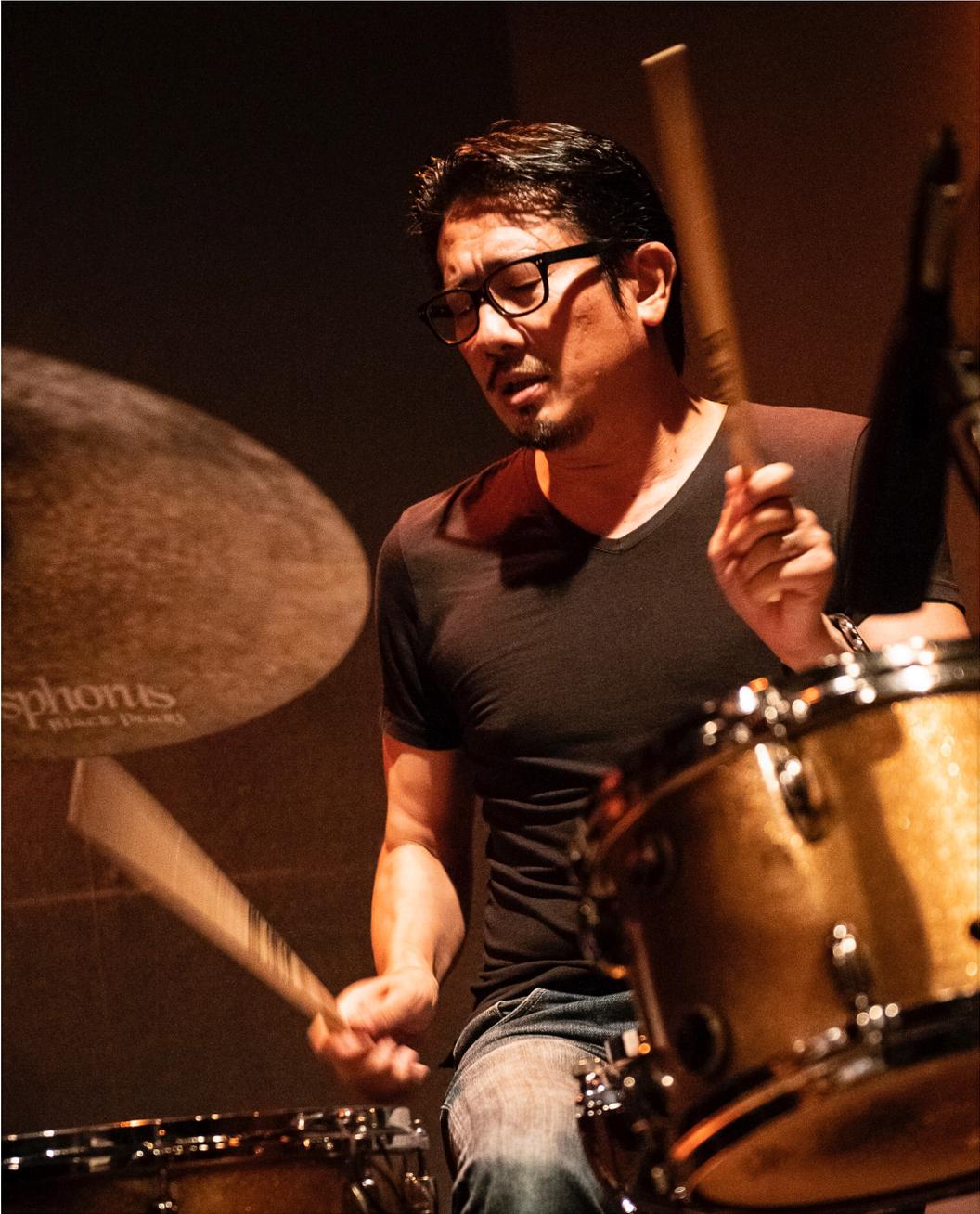
また、クラシックパーカッションを山口多嘉子氏に、ラテンパーカッションを石川武氏に、それぞれ師事する。

2022年、同学を優等賞を受賞し卒業。

またこれまでに2度、米カリフォルニア州の California Jazz Conservatory での短期留学プログラムに参加し、現地の人々や音楽との交流を深める。

現在は自身のトリオをはじめ安ヶ川大樹 (ba) ニュートリオ、阿部俊貴 (as) The One Quartet などのグループで都内・横浜を中心に活動中。











#### 土田晴信

ノーザンイリノイ大学ジャズピアノ科、デポール大学院ジャズ作編曲科卒業。ピアノを Willie Pickens、ハモンドオルガンを Tony Monaco、Chris Foreman に師事。11年間アメリカ・シカゴを中心にジャズやブルース系ハモンドオルガン・ピアノ奏者として演奏活動。2010年に日本に帰国し活動。新たに2013年にドイツ・ベルリンに転居しヨーロッパ中心に活動。アメリカ・ドイツ・イタリア・チェコ・スロバキア・スウェーデン・ノルウェーなどで演奏。2016年より日本中心に活動再開。

2006年にジャズオルガン奏者としてデビューアルバムとして"Midnight Shuffle"をリリース、2010年に"Next Time You See Me"をリリース、2015年にドイツの Mons Recordsより"Swingin' with the Hammond Organ"をリリースし、アメリカ・ヨーロッパ・日本・その他の国でディストリビュートされる。2018年に"Sunny"をアディロンダックをリリース。

Chicago Blues Festival, Baltimore Blues Festival, Waterfront Blues Festival, Gary Jazz Festival, Chicago Asian Jazz Festival, Eddie Lang Jazz Festival, International Jazz Festival Praha などその他多くのアメリカやヨーロッパのブルースやジャズフェスティバルにリーダー及びサポートとして出演。またアメリカやドイツでテレビ出演。

アメリカやヨーロッパの著名なブルースやジャズミュージシャン Billy Branch, Eddie C Campbell, Bo Diddley, Torsten Goods, Phil Guy, Jeff Hamilton, Harold Jones, Tony Lakatos, Nils Landgren, Magnus Lindgren, Pinetop Perkins, Tim Ries, Ira

Sullivan, Junior Watson, Peter Weniger, Phil Woods と共演。

日本人ハモンドオルガン奏者としてアメリカ、ヨーロッパ、日本とワールドワイドな活動を行っている。また教育者として2016年から慶應大学にて一般教養としてジャズのクラスを教えている。



鈴木洋一

1986年 埼玉生まれ 2007年にバークリー音楽院に留学、リッチー・ハート氏に師事シジャズギタリストを志す。 帰国後、赤坂Keiにてスタン・ギルバートのバンドに加入し、二年間活動する。 その後Mahogany Organ Allstarsのメンバーとして現在も活躍中。2017年に同バンドの1stアルバム「A Date With MOA」、2018年に2ndアルバム「100 Landscape」、2022年に「Hello, New World!」をリリース。 ウィーンジャズフェスティバル、ノースジャムセッション、モーションブルー横浜などに出演。 定期的にソロギターライブも行っている。



#### 中村誠

神奈川県出身。中学生のころXJAPANに憧れてドラムをはじめる。その後ジャズドラムを大坂昌彦氏に師事。キャロル山崎、前田憲男、北村英治、布川俊樹、各氏らと共演。2016年には10年来の仲間である nica&Hongo trio にてアルバム「Sunny」や、ピアニスト杉田靖典とのトリオで「華町風月」を発表。神奈川東京を中心にジャンルを問わず幅広く活躍中。 ジャズ以外にもビートまりお率いる COOL&CREATE をはじめ MOSAIC.WAV、まらしい、でんぱ組 inc 等と共演。ジャンルを問わず幅広く活躍中。